



季節はもう夏。大変暑くなってきましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。いじめ防止サポーター制度3年目に突入する今年度もご協力よろしくお願いたします！！

【皆様の活動を報告します！】

平成28年度もいじめ防止の活動にご協力いただきありがとうございました。市内各所でいじめ防止ステッカーやポスターを見かける機会が非常に多く、市民の皆様にも認知していただけているのではと感じています。

ご報告いただいた活動を大きく分類すると、下表のような活動となっております。事業所の皆様の活動の場合、事務所や営業車へのポスターとステッカーの「**掲示**」が最も多く、外回り時や子どもの登下校時の「**声かけ・見守り**」が次に続きます。団体の皆様の活動の場合、直接子どもと関わる機会が多いため、子どもと一緒にいじめについて考えることのできる「**グループワーク**」がトップになりました。各事業所様、団体様ともに、その特色を生かした取り組みをしていただいている結果となりました。

【事業所の皆様の活動】

| 活動の種類 | 件数 |
|---------|----|
| 掲示 | 50 |
| 声かけ・見守り | 14 |
| HP | 3 |
| 啓発 | 1 |
| 情報収集 | 1 |
| 合計 | 69 |

【団体の皆様の活動】

| 活動の種類 | 件数 |
|---------|----|
| グループワーク | 25 |
| 掲示 | 16 |
| 啓発 | 13 |
| 相談 | 2 |
| 声かけ・見守り | 2 |
| 居場所作り | 1 |
| 合計 | 59 |



いじめ防止サポーター制度が始まり早2年。活動の成果が直接見えづらいためやりがいを感じられないという方もいるかもしれません・・・

しかし、「いじめ防止の周知」や「いじめについて考える機会を設けること」は、「いじめ」防止に大きな効果があります。みなさんの力でいじめをなくしていきましょう！！

【いじめ防止関連ニュース】

●インターネットやSNSをとおした見えない「いじめ」が増えています・・・

平成29年3月17日に「富士見市いじめ問題対策連絡協議会」が開催されました。一般社団法人インターネットユーザー協会より代表理事の小寺 信良 氏を講師として招聘し、「子どもたちはなぜ繋がりがたがるのか」をテーマに、近年問題となっているインターネットいじめや子どもとネットを取り巻く環境について講演していただきました。現代の子どもたちの価値観や親世代の価値観の分析、インターネットやSNSへの依存傾向、それに伴う人間関係に対する考え方の変化などわかりやすく解説してくださり、大変勉強になる内容でした。URL または QR

コードから講演内容のネット連載記事が読めますので是非ご一読ください。
<http://www.itmedia.co.jp/mobile/articles/1310/28/news084.html>



(出典：ITmedia Mobile)

●「いじめ防止標語コンクール」～関沢小学校 PTA の皆様の取り組み紹介～

昨年10月、子どもたちがいじめについて考える機会を設けるために、「いじめ防止標語コンクール」が関沢小 PTA の主催で開催されました。1年生から6年生まで、中にはクラス全員で取り組んでくれたクラスもあり、計153名の子どもたちが応募してくれました。子どもたちがいじめに対してきちんと向き合っていることが感じられました。また、土曜参観を利用して父母の皆様が良いと思った作品に投票していただきました。作品を選ぶ大人の眼差しも真剣そのもの。投票で選ばれた各学年1名ずつの生徒と PTA 会長・校長先生が特別賞として選んだ2名の生徒、計8名をクラスのみならず保護者の前で表彰しました。今回が初めての試みでしたが、とても好評で子どもたちのいじめに対する思いも感じられたので今後も開催する予定です。

●「地域の皆様の見守りが重要です!!!」

平成29年5月24日に「西部地区いじめ・非行防止ネットワーク推進会議」に参加してきました。そこでは昨年8月に起きてしまった東松山市の少年死亡事件をテーマに、検証と再発防止策について情報共有が図られました。事件に関わった川越市在住の生徒について、川越市は家庭環境等を把握していて、児童相談所も含めた関係各課と連絡を取り合い注視していたようです。しかし、事件が夏休み期間中に起こったこともあり、未然に防ぐことはできませんでした。この事件からわかるように、市や学校、保護者のみでの対策には限界があります。学校や家庭以外で子どもがどう過ごしているのか、いじめにつながるような前兆はないか等、地域の皆さんで見守っていきましょう!!



【質問コーナー】

Q.5～6月、10～11月にいじめが増加するのはなぜ？

A.回答に値するような科学的データは見つかりませんでした。長期休暇から時間がたち、学級が落ち着くと増加する傾向があるようです。

◎今後皆様からのご質問にできる限り回答したいと考えていますので、何かございましたら子育て支援課までご連絡ください。